

授 業 科目名	教職総合演習β	※必修	開講年次	3	単位数	2
科目区分	教科または教職に関する科目（教職に関する科目：総合演習）					
サブ タイトル	総合的な学習の時間で「いのち」を考える	担当者	小松 伸之			
講義概要	<p>【概要】 中学校や高等学校では、教科学習とは別に「総合的な学習の時間」が設けられている。総合的な学習の時間は、従来の教科の枠組みにとどまらない領域横断的な内容を取り上げることで、学校教育において必ずしも十分ではなかった体験的な活動や思考の場を生み出すことをねらいとしている。</p> <p>本演習では、そのような「総合的な学習の時間」にいかに関与するか、理念やねらいを確認したうえで、実践例に触れることでイメージを膨らませる。特に「いのち」を全体テーマとして設定し、学生自らが生徒の立場となって考え発表する場をつくる。さらに、書籍や新聞記事、映像や写真・音楽といった素材を集めてグループで検討し、意見交換を通じて教材化していく作業を行う。このような作業を通じて、教師として求められる教材開発のセンスを高めていくことをねらいとする。</p> <p>【到達目標】 ○「いのち」について自らの考えをまとめ、ディスカッションを通じて掘り下げることができる。 ○「総合的な学習の時間」で活用できる教材開発を行うことができる。</p>					
履修条件	教職課程を履修している者					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）』 ※文部科学省ホームページからすべてダウンロードすること</p> <p>【参考書】適宜、教場で指示する。</p>					
授業回数	内容					
1	「総合的な学習の時間」のねらい					
2	なぜ「いのち」を取り上げるのか					
3	「いのち」の状況					
4	「いのち」に関わる実践①（「いのち」の継続性）					
5	「いのち」に関わる実践②（「いのち」の有限性）					
6	映像視聴①『いのちの食べかた』					
7	ディスカッション①					
8	映像視聴②『ブタがいた教室』					
9	ディスカッション②					
10	「いのち」に関わる教材開発①					
11	「いのち」に関わる教材開発②					
12	教材発表・ディスカッション①					
13	教材発表・ディスカッション②					
14	教材発表・ディスカッション③					
15	まとめ					
評価方法	グループによる教材の開発・発表（40%）、個人レポート（30%）、コメント・平常点（30%） ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。					
評価基準	授業内容について深く考察し、優れた教材開発を行った者には「A」を与える。内容についての理解や教材に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者や不適切な教材開発を行った者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	※平成22年度生からは選択科目					